

私立大学図書館協会東地区部会

スキルアップ研修「和漢古典籍講習」

担当 小此木敏明（立正大学古書資料館専門員・IAAL 会員）

内容と目標

日本や中国で刊行された古典籍資料を所蔵している大学図書館は多いと思います。図書館員として、それらの資料に関わる機会も出てくるでしょう。しかし、古典籍資料の扱いには専門の知識が必要となります。特に、書誌学的知識なくして、その書誌を作成することはできません。たとえば、書名をどこから取るか、刊記の情報を出版年として採用してよいか、刊記がない場合の出版年をどのように推定するか、印記の読解方法など、個人で学習するには難しい問題が数多くあります。

本講習では、書誌学的知識を学ぶことで、古典籍資料の扱い方や書誌作成の能力を身につけることを目標とします。

研修計画・開催方法

13時15分から3時間程度、月1回（夏期休暇・年度末などを除く）の講習を予定しています。前半はテキストを用いた学習、後半は古典籍資料の調書を作成する実習を行います。

本講習では、古典籍資料を実際に見ながら調書を取る必要があるため、本来は対面式で行う必要がありますが、昨今の状況を踏まえ、オンライン（Zoom）で開催する予定です。ただし参加者の人数など、環境が許せば、対面式（あるいは対面式とオンラインのハイブリット型）になる可能性があります。開催方法については、初回時に参加者の状況を確認して方針を決定することにします。

開催

第0回 開催方法の検討、工具書などの案内、テキストについてなど。

第1回 テキストの輪読／調書の取り方について。

第2回 テキストの輪読／調書作成の実習。

∴（以下、繰り返し）

月1回、平日 13:15-16:15（途中休憩約 10分を挟む）

* 開催回数・開催時間については初回時に応相談

オンライン（Zoom）開催

※ 受講の際にはインターネットに接続できる環境とブラウザが必要となります。

※ ハイブリット型への移行も検討するが、いずれにしても初回時はオンラインで行います。